平成27年1月15日発行

ふたまちだより

発行責任者　本城晴夫・広報部会

二町自治会　1月1日現在

世帯数		769戸
人口	男	1046人
	女	1026人
	合計	2072人

新年のごあいさつ～夢と希望の持てる年～

二町のみなさま新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。旧年中は、自治会運営に深いご理解ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は２月に開催されたソチオリンピックで、アイススケートの羽生結弦選手、冬季五輪史上最年少メダリスト平野歩夢選手を始め若者の活躍が話題になる中、レジェンド葛西紀明選手の活躍も印象に残ります。一方では、異常気象による豪雨や火山活動による自然災害も記憶に残る１年でした。そんな中、野球・ゴルフ・テニスなどプロスポーツ界における日本人選手の活躍、なんといっても「赤崎勇」「天野浩」「中村修二」３氏が青色ＬＥＤでノーベル物理学賞を受賞されたことは、我々に夢と希望を与えられた明るいニュースでした。

共に迎えたこの年が、希望の持てるよい一年になることを願い、二町がより住みやすく、住んでよかったと思っていただける、安全で安心なまちづくりになお一層努めて参る所存です。皆さまには昨年同様引き続き自治会運営にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。そして、皆さまにとりまして幸多い年でありますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

二　町　自　治　会

自治会長　　本　城　晴　夫

副自治会長　　今　里　　壽

会　　計　　高　田　孝　三

火災の増える季節です！ご注意ください

年が明け寒さも一段と厳しくなり、空気も乾燥し最も火災が発生し易いシーズンが到来しました。

火災の発生は皆さんの生命に危険を及ぼし、一瞬にして貴重な財産を奪い、身体に多大な障害を与える可能性があります。どのような防火対策があるのか、またもし火災が発生したらどうすれば効果的な初期消火ができるのか湖南広域消防局北消防署にお尋ねしました。

また、滋賀県は津波の心配は有りませんが、琵琶湖西岸地震の発生が想定されていますし、このところの異常気象による大雨、巨大台風、突風や竜巻の被害が予想されます。

守山市の防災マップはどのようになっているのか、二町の緊急避難場所はどこになっているのか、皆さんに防火、防災意識をより一層深めて頂けることを期待し特集しました。

火災予防

平成25年中の全国の建物火災の発生件数は25053件でその内の約50%が住宅火災で12502件となつています。建物火災の出火原因は放火(14.3%)を除き多いものから、コンロ(14.6%)、たばこ(10.0%)、ストーブ(5.7%)、電気配線(3.8%)配線器具(4.3%)、電気機器(3.1%)、火遊び(2.4%)の順になっており、コンロ、電気関連、たばこが出火の三大原因になっています。(平成26年版消防白書より)

守山市内の平成25年中の火災の発生件数は14件で、その内訳は建物火災8件、車両火災1件、その他5件となっています。ちなみに二町町内には平成25年中の火災の発生はありませんでした。湖南広域消防管内の火災発生件数は75件で出火原因は多いものから順番に放火(疑い)13件、たき火12件、たばこ5件、コンロ(天ぷら鍋を含む)7件、電気機器4件、火あそび4件、溶接火花3件、その他27となっています。(北消防署提供資料より)

家庭での防火対策はできていますか？

家庭内での防火対策はコンロの消し忘れ、漏電やタコあし配線、老朽化した家電製品、だばこの不始末等の出火原因の根絶に尽きます。常時次のことを心掛けてましょう。

☆出かける前、寝る前の火の後始末	☆寝たばこはしない
☆家の周りに燃えやすいものは置かない(放火対策)	☆家庭ごみ等の焼却行為はしない
☆うっかり火災の予防(コンロやストーブ等の消忘れなど)	

この他に、消防法改正により平成23年6月までに設置を義務付けられた防火対策として住宅用火災警報器があります。全国の設置率は平成26年6月現在で79.6%に達し、設置されていない場合に比べ被害状況が概ね半減、死亡リスクや損失拡大リスクが大幅に低減する傾向にあったと報告されています。
総務省消防庁のホームページ(http://www.fdma.go.jp)の住宅防火対策のコーナーには更にいろいろと防火対策記事が掲載されていますので一度ご覧になられたらどうでしょうか。

『初期消火』

的確な初期消火ができれば、ほとんどの場合大きな火災には至らず小さなボヤで済みます。
消防白書に平成25年の初期消火に用いられた消火機器の統計があります。その中で最も多かったのはその他方法(水道、浴槽、汲み置の水、寝具、衣類等をかけた)37.5%であり、その次に消火器(液/粉末)19.0%、簡易消火器具(水バケツ、水槽、乾燥砂)5.2%であったと掲載されています。とっさの事であり、その他の方法が統計上最も多かったものと思われますが、消火器具としては住宅用消火器(液/粉末)がいちばん使用頻度が高く、初期消火ツールとしては最も一般的で効果があるもののようです。
初期消火に関する北消防署のコメントは「天井に至るまでの火は消火器等で消火可能ですが、天井に至ったら早急に逃げて下さい。また、危ないと思えば消火をやめ、できる限り早く避難して下さい。初期消火も大事ですが、早い119番通報をお願いします。容易ではないかも知れませんが、住所、氏名、家族の人数、逃げ遅れの有無、火災の場所(台所等)を頭に入れて通報して下さい。」でした。

春の全国火災予防運動　3月1日～3月7日

地域防災対策

守山市の防災マップをご存じですか、この地域にはどのような災害が予想されるのか、平成24年に改訂発行された保存版の守山市の防災マップは大変よくできていて詳しく掲載されています。災害は忘れたころにやって来ると言いますし、全国的に異常気象による局地的ななゲリラ豪雨の被害が頻発しています。
この際もう一度、読み直されたらどうでしょうか。
このマップの中には滋賀県に被害を及ぼした過去の地震、今後予想される地震や豪雨よって引き起こされる被害の大きさの予想(震度、液状化レベル、水害による浸水高さ等)について詳細に掲載されています。
また、災害が起きた時の避難場所や避難時のマナー、近隣の要援護者の介助の必要性についても掲載されており大変参考になります。ちなみに二町の避難場所は物部小学校、物部幼稚園、少し遠いところでエルセンター、焔魔堂公園といった所でしょうか。
守山市には山が無く平坦地で風通しがよいので竜巻の発生が気になります。市の危機管理課に竜巻被害の想定について問合わせしてみました。しかし、竜巻の発生メカニズムが未だ十分解析されていないことから発生し易い場所の特定や、その大きさの推定等の防災対策は今のところ困難なのですとの回答でした。
また、防災マップを無くされた方のため、近々、改訂版の配布の予定あるか聞きましたが今のところは無いそうです。平成24年版は新しく転入して来られた方のためいくらかの在庫は用意しているものの、限りあるものであり、基本的には、市のホームページに掲載しているのでダウンロードしてご利用下さいとの事でした。

北消防署の推奨防災グッズ	飲料水(2リットル/日を人数分、3～4日分)、食料(人数分、3～4日分)、ビニール袋、ラップ、ラジオ、電池、手袋、照明器具、着替え等